

重点実践事項に基づいた評価

() は第1回結果

重点実践事項	評価項目	評価
1 高い使命感・職責感をもち、全職員の協働とアイデアで目指す姿の実現を図る。	(1)-① 小学部・中学部の枠を取り払った学習活動を効果的に進めているか。	3.5 (3.4)
	(1)-② 鹿児島養護学校高等部訪問教育学級との場を共有した共同学習の効果的な進め方について検討・整理しているか。	3.3 (3.1)
	(2)-① 業務改善に向けての取組が図られているか。	3.0 (3.0)
	(2)-② それぞれが課題意識をもって校務に取り組んでいるか。	3.3 (3.0)
	(3) 今後の学校行事(運動会、学習発表会など)の在り方を検討し、具体的な方針を策定しているか。	3.3 (3.2)
2 児童生徒の実態と学習指導要領に基づいた教育課程編成を行い、個別の指導計画により更なる授業の充実を図る。	(1)-① 各指導の形態の年間指導計画にある学習内容を、学習指導要領の各教科の内容と照らし合わせ、指導内容の充足を図っているか。	3.2 (3.2)
	(1)-② 適切な評価等を行うことで、常に授業改善を行っているか。	3.3 (3.3)
	(2)-① 児童生徒の実態に応じた教材の開発をしているか。	3.3 (3.2)
	(2)-② 教材・教具庫(棚)を整理し、作成した教材・教具について保管及び共有できるようにしているか。	3.2 (3.2)
	(3) 個別の指導計画などを活用した目標や指導内容、実態等の共有を行い、担任以外でも指導に当たれる体制づくりを行っているか。	3.5 (3.3)
3 保護者・やまびこ、諸関係機関と連携しながら、更なる支援体制の充実を図る。	(1) 児童生徒の様子についてやまびこ医療福祉センターの病棟やリハ部等との日常的な情報交換がなされているか。	2.9 (3.8)
	(2) 授業参観や面談等を通して、保護者と連携の充実を図っているか。	3.0 (3.3)
4 保健衛生、安全管理、合理的配慮を充実した安心・安全な学校環境づくりを行う。	(1) 保護者ややまびこ医療福祉センターと連携し、感染症対策を行っているか。	3.7 (3.7)
	(2)-① 不要品等の整理を行い、児童生徒にとって安心・安全な環境づくりに努めているか。	3.5 (3.4)
	(2)-② 日常的な安全点検や定期的な整理整頓に努めているか。	3.5 (3.5)
	(3)-① 緊急時の対応やヒヤリハットの報告について全職員で共通理解し、事例を生かしたよりよい対応のマニュアルへと更新が図られる仕組みになっているか。	3.4 (3.4)
	(3)-② 災害時の避難経路や消火栓等の設置場所の確認を行っているか。	3.2 (3.4)
	(4) 安全点検簿を活用して、日常的に事務部と連携を図り、早期対応に努めているか。	3.4 (3.5)
5 特別支援教育に係る積極的な情報収集・発信に努め、センター的機能の充実を図る。	(1) 学校ブログの活用を促進し、学期ごとに教育活動の様子について一人1ブログの掲載を計画的に行っているか。また、行う予定であるか。	3.5 (3.5)
	(2) 市教委及び地域の幼稚園・保育所、小・中学校、高等学校の要請に応じた巡回相談等の充実を図っているか。	3.5 (3.6)

<まとめとして>

- ほとんどの項目で「おおむね達成できている」以上の評価が得られている。
 - ・ 各部署で重点実践事項に基づき、工夫した対応を行っていることがうかがえる。
 - ・ 一方で、2の評価があった項目もある。少数意見も参考にさらによりよい取組を継続したい。
- 「3 保護者ややまびことの連携」に関する項目が前回よりも低くなっている。
 - ・ コロナ禍で直接的なやりとりが制限されてしまったことが大きな要因となっていると考えられる。児童生徒の日常と大きく関わるやまびことの連携が本校にとって重要な位置を占めていることが改めて浮き彫りになった。先日、自活反省の意見をもとに、自活部からはリハ部との連携方法についての対応策が示されたが、病棟との連携の在り方についても今後工夫改善を図っていく必要がある。